

震災復興事業が完了しました

未曾有の被害をもたらした東日本大震災により、本町では沿岸部にある浜田・須賀地区の多くの家屋が津波による浸水被害を受けたほか、内陸部においても家屋の損壊や道路の陥没、さらには学校等公共施設の多くが損壊し、町民の日常生活や産業活動に大きな影響を与えました。

その後、町では震災復興計画に基づき、浜田地区、須賀地区を中心とした復興事業を着実に進め、東日本大震災から10年が経過した令和2年度に全ての復興事業が完了いたしました。

復興事業全体事業数：41事業 総事業費：11,474,593千円

○主な事業

【浜田地区】

下水道事業



避難施設、防災備蓄倉庫整備事業



避難路整備事業



防潮堤整備事業



臨港道路整備事業



【須賀地区】

護岸等機能強化事業



避難路整備事業



臨港道路整備事業



避難施設、防災備蓄倉庫整備事業



水門整備事業



災害公営住宅整備事業



神谷沢活動崩落対策事業



神谷沢集会所整備事業



復興事業にご協力、ご支援いただきました皆様へ深く感謝申し上げます。

春はやて



風の強い日が多い春。東日本大震災から10年。身内も友人も犠牲になった災害です。荒浜に足を運んだのは去年の話で、犠牲となった方々の名が刻まれている供養碑に悪友の

奥様とご家族の名前を見つけました。享年35歳という年齢にぎょっとして、当たり前なのですが、10年前、なんと若い命が奪われてしまったのだらうと改めて故人の悲しみを追憶するのです。友人は1年後、家族の後を追いました。

あれから10年が経ってしまった、と思います。ひとかたならぬ悔いがあるからそう振り返るのだと思います。あの時、自転車で手当たり次第、関係者、機関、友人・知人、団体などを巡りましたが、自らの無力さに地団太を踏むこと数多。利府町役場も被災者でごった返していました。「ここは大丈夫だから、もっと大変な所へ顔を出してやってくれ」多くの現場で告げられた言葉です。最悪の状況下、それでも他者を思いやる言葉をたくさん耳にし、たくましさをいただいた気がします。

急ぎすぎたのではないかと思う10年でもありました。たくさんの方が大事な人を失い、人生をかけて築いてきたものが一瞬で消滅し、それでも前を向いて立ち上がろう、生業、生活、日常の再建を一日でも早くという気概で進んできました。時にぶつかり、時に励まされ、疲れることもありましたが、人の情けがありがたく、塗炭の苦しみを味わいながら振り返る余裕もなく、一日一日乗り越えてきた10年ではなかったかと思います。

これからの10年を考える時、私は希望を失っていません。震災直後、多くの子ども達が卒業式などの式典で、「私が復興を担います」と気高く宣言して巣立っていきました。復興への思いを胸に秘め、大人の仲間入りをした若者に期待します。逆風や風評、風化と闘ってきた春愁(しゅんしゅう)の後、彼/女らこそが創造的復興の追い風を疾風のように吹かせる主人公であると、私は期待しています。

利府町長 **熊谷 大**

東日本大震災犠牲者の追悼 「みやぎ鎮魂の日」

献花台と記帳所を設置します

- 日時 3月5日(金)～11日(木)
午前8時30分～午後9時
※土・日曜日は午前9時～午後9時

- 場所 **ベア・パル利府(町民交流館)**

※献花用の花はご持参ください。供物や香料は、受取りできません。

黙とうについて

- 日時 3月11日(木)
午後2時46分(1分間)

- 場所 **町内一円**

町内各所に設置している防災行政無線で、サイレン音を1分間鳴らします。
当日午前10時、午後2時30分の2回、防災行政無線で事前アナウンスを行います。
皆様のご理解をお願いします。

問 秘書政策室 秘書広報班 ☎767-2112

追悼献花台設置

- 日時 3月11日(木) 午前9時～午後5時

- 場所 **グランディ・21**
(セキスイハイムスーパーアリーナ)

問 (公財)宮城県スポーツ協会 ☎356-1122

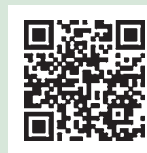
行政情報 一斉配信サービス

ご活用ください

「町からのお知らせ」や「災害情報」などをいち早く知ることが出来ます。



LINE友達追加



メール配信登録
(スマートフォン・
パソコン)



メール配信登録
(フィーチャーフォン)

町ホームページからもご登録いただけます